

CIOF パートナース設立の趣意

製造業はいま激動の中にあります。米国大手 IT 企業数社が時価総額で我が国の GDP を凌ぐ勢いで拡大していることに代表されるデジタル経済が、ものづくりの立ち位置を根底から揺るがしています。電気自動車（EV）はすでにハードウェアではなくソフトウェアと企業間のサプライチェーンに競争軸が移っています。先進企業は、社内にデータを囲い込むのではなく、知財としてのデータが、いかに社外を巻き込んで Win-Win の関係構築に利用できるかを模索しています。

また、地球環境問題がますます身近な課題となりつつあります。日本政府は 2050 年のカーボンニュートラル（CN）を目指すとして宣言しました。これはエネルギーを提供する側だけの問題ではなく、それを利用する製造業の問題でもあり、新たな連携のためのイノベーションが要求されています。すなわち、この課題を企業が個社単位で解決するのではなく、地域全体、あるいはサプライチェーン全体で取り組む必要があります。グリーン成長のためのデータ駆動型の連携が、新たな信頼関係の構築を支えます。

こうした中で、知財としてのデータのオープン&クローズ戦略が注目されています。新たな時代に対応するために生産に関するデータを他の企業へ提供する際に、どのデータを誰にどのような用途で開示するかを定める必要があります。また、現状で安価に利用可能なデジタル技術（メール転送、ファイル便など）は脆弱であり、セキュリティー的にも、トレーサビリティ（追跡可能性）的にも、そして作業効率的にも不十分です。

IVI では、こうした課題に対応するために、経済産業省のコネクテッドインダストリーズの指針にも対応した企業間オープン連携フレームワーク（CIOF）を開発し、2022 年度より運用を開始します。このしくみは、中小製造業も含め、我が国のものづくりの知的財産であるデータを相互に流通させることを可能とします。工場をもつ製造業と、デジタル機器やシステムを提供する企業が一体となり、新たなイノベーションを仕掛けます。

CIOF パートナースは、デジタル経済社会、Society 5.0 における製造業のさまざまなデータの価値を引き出し、CIOF を用いたオープンなエコシステムを先導します。CIOF パートナースは、グローバルな標準を実用面から提案するとともに、その協調領域を担う先進的な企業グループとして CIOF のしくみを支え、製造業のデジタルトランスフォーメーション（DX）の実現に貢献します。

ものづくりを愛する多くの皆様と共に、新しい時代におけるイニシアティブを担い、製造業の新たなフロンティアを築いて参りたいと思います。ご賛同いただける多くの企業のご参加をお待ちしています。

2022 年 3 月

インダストリアル・バリューチェーン・イニシアティブ
理事長 西岡靖之